



仲町はなれ

個人から団体まで自在に使える「レンタル古民家」

講座・イベントなど交流拠点としても活用拡大！

仲町3丁目、かつての常盤町の地名を残す「ときわ集会所」に沿った路地を少し進むと、その並びに「仲町はなれ」の小さな看板が目に入る。コンセプトは「レンタル古民家」。

コロナ禍で様々な活動の場が奪われるなか、他のグレープと接触することなく食事をしたり、仕事や趣味に打ち込めるプライベートな空間を提供しようと（同）はたのね（久保田裕一代表）が空き家となっていた古民家を借り受け整備。一棟貸しのレンタルスペースとして令和3年より貸出を開始した。

古民家ならではの重厚な造りの良さはそのままに、屋内の敷居を取り払い開放的な空間としたほか、押し入れの一部分の構造を活用した木製遊具をDIYで制作し設置。子ども連れの利用者が周りの目を気にせず、目の届く範囲で子どもたちを自由に遊ばせながら様々な活動ができるよう配慮されている。使いやすい広さに組み合わせて使用できるよう設計したテーブルやプロジェクトターも新設。既存のキッチン等も活かし、ワ



【仲町はなれ】

- 住所／桐生市仲町3-5-17
- HP／<https://share-minka.com/nakamachi/>
- E-mail／kukan@hatanone.com
- @nakamachi_hanare

ークショッピングやイベント会場としても活用の幅を広げた。令和5年秋からは、建物を活用した教室運営のフローも手掛けるなどまちなかの交流拠点としての機能を強化すべく、株I R O R I B A（吉田泰彦代表）と株素描（小林正幸代表）の二社が加わった実行委員会形式での運営に移行。ピアノやヨガ講座など様々な催しが開かれ、地域のカルチャーセンターの機能も果たしている。

プライベートでも使用できるレンタル機能は維持しつつ、人々が集う「ふれあいの場」としての役割を併せ持った「仲町はなれ」。長い歴史を歩んだ古民家ならではの落ち着いた空間が、様々な形態での「憩い」のひとときを演出する。